

「CAN-DO リスト」の 活用等について

宮崎県教育庁 義務教育課
義務教育・学力向上第二担当
荒木 光司

英語教育改善プランに基づく県教委の取組

- 1 英語教育推進リーダーによる学校支援 2 学力アッププロジェクト協議会 3 外部専門機関との連携

小学校

- 4 外国語教育推進協議会
・推進校の研究等をもとに各教育委員会や各学校を支援
5 小学校外国語専科資質向上研修 (新)
・専科力配教員の専門性を高める研修を実施
6 小学校外国語教育研修(評価に関する研修) (新)
・小中連携を柱に、CAN-DOリストの活用に関する研修を実施

本日は
ココ!

中学校・高等学校

- 7 中学校外国語教育研修(評価に関する研修) (新)
・小中連携を柱に、CAN-DOリストの活用に関する研修を実施
8 生徒の発信力育成のための中高合同研修会
・中学校から高等学校への連続性のある指導の充実

ゴール
イメージ

グローバル社会に対応できる人材の育成

宮崎県の目指す高校卒業時の姿(英語教育)
「英語を運用して、自分の意見や考えを即興で論理的に表現できる生徒」



「CAN-DOリスト」・
「ICT」の活用

取組の
成果として

授業改善
資質向上

宮崎県の目指す教師像(英語教育)
「小・中・高のつながりを意識し、専門性と自信をもって、授業改善に取り組む教師」

克服すべき
課題

- ・教科化等へ対応するための教員の
英語力や指導力の向上
・カリキュラム編成

- ・CAN-DOリストの活用
・小学校と高等学校をつなぐ指導
の充実

- ・英語使用状況の向上
・大学入試の改革に対応するための
指導方法の開発・普及

- ・高学年での外国語教育の教科化
・中学年での外国語活動の実施

- ・授業は英語で行うことが基本
・話すことの能力の向上

- ・高度な言語活動の実施
・大学入試共通テストにおける
4技能評価への転換

小学校

中学校

高等学校

英語教育を
取り巻く現状
「学習指導
要領改訂
の趣旨」

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定状況

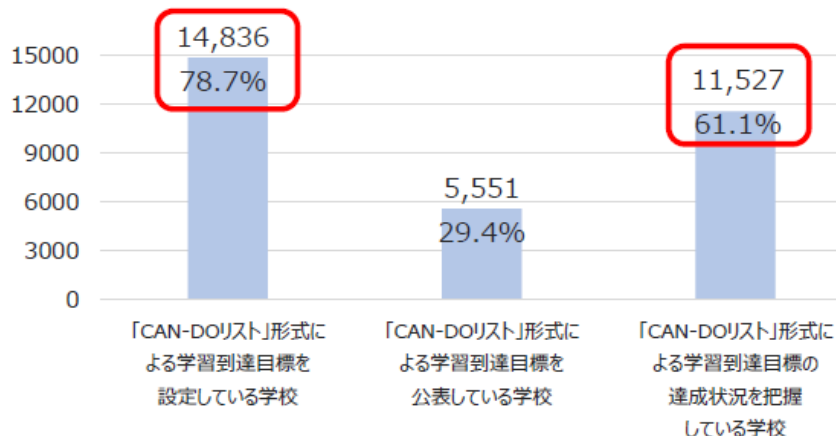
【小学校】

○ 「外国語を使って何ができるようになるか」という観点（「CAN-DOリスト」形式）による学習到達目標を設定している割合は78.7%。

【中学校・高等学校】

○ 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している中学校、高等学校の割合は9割を超えている。「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している学校は、中学校において一昨年度から大きく上昇し67.5%となった。

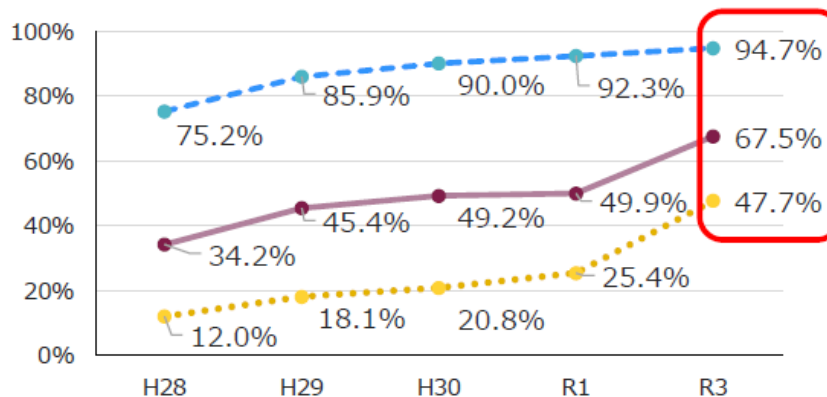
【小学校】



※ 新学習指導要領では、外国語科の目標を各領域（聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くこと）ごとに「何ができるようになるか」という観点で設定していることを踏まえ、CAN-DOリスト形式による学習到達目標の設定と学習評価への活用等を普及する必要がある。

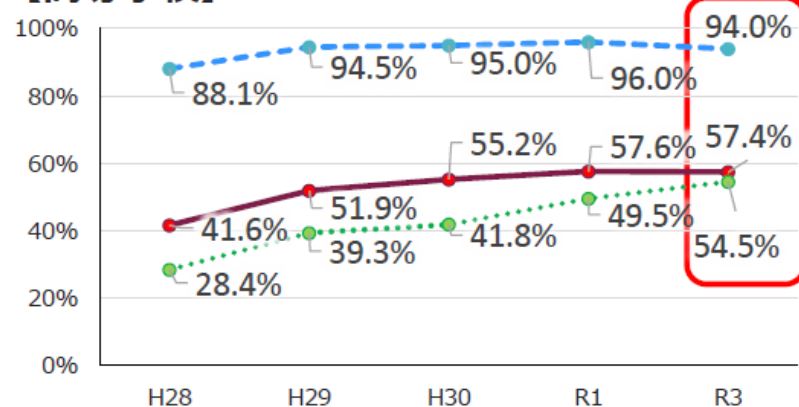
● 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学校の割合
● 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している学校の割合
● 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学校の割合

【中学校】

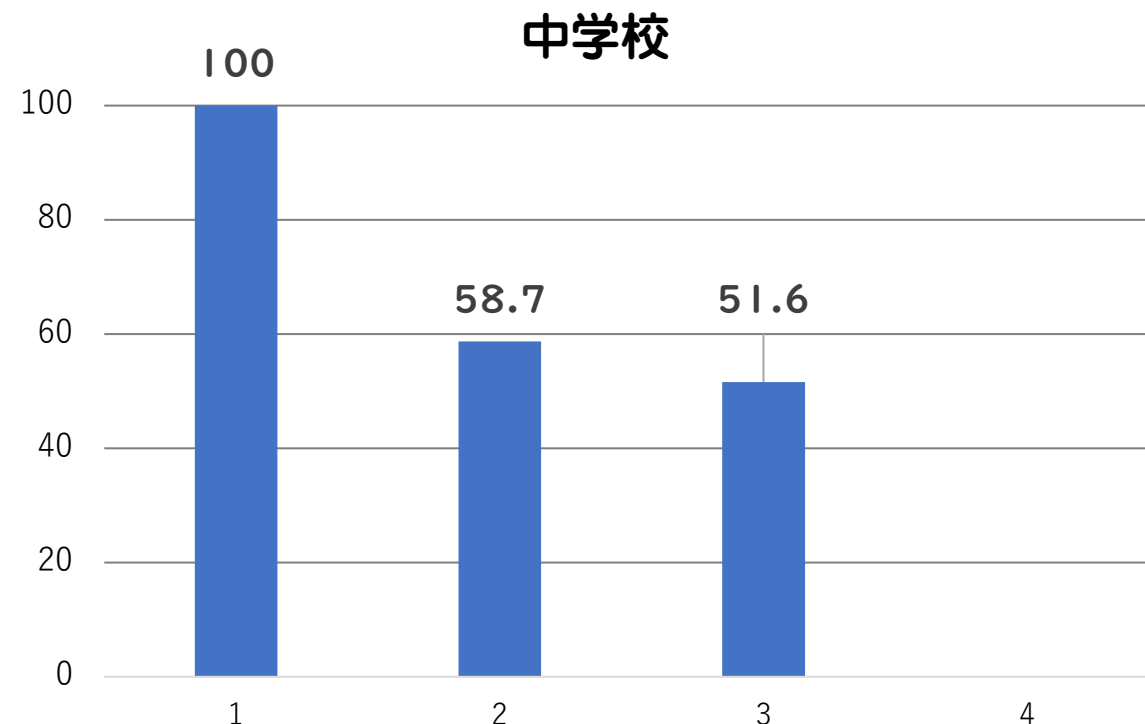
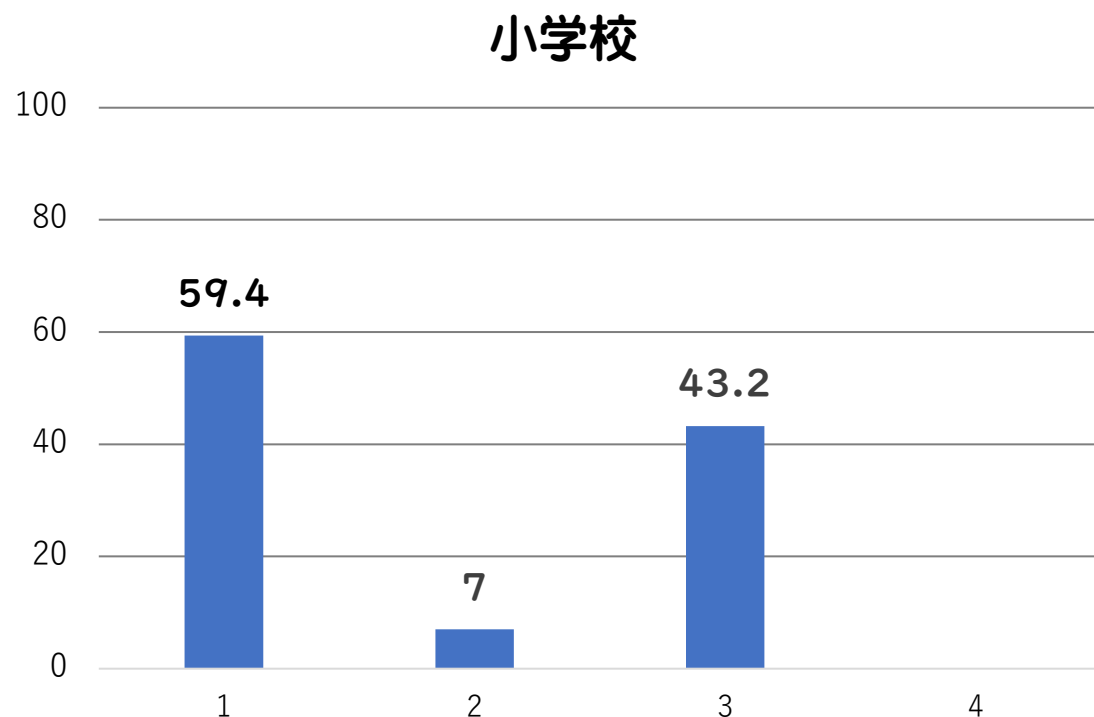


【高等学校】

※ 高等学校においては全学科数を分母に割合を計算



宮崎県「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定状況



CAN-DOリスト形式による学習到達目標の公表
と達成状況の把握が課題

外国語活動・外国語科の目標について

外国語活動（小学校 3・4 年）

コミュニケーションを図る 素地となる資質・能力を育成する

外国語科（小学校 5・6 年）

コミュニケーションを図る 基礎となる資質・能力を育成する

外国語科（中学校）

簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりする コミュニケーションを図る 基礎となる資質・能力を育成する

言語活動を通した指導

実際に英語を用いた言語活動を通して指導する



英語を用いて実際の
コミュニケーションを体験する

言語活動に関する事項

中学校においては、小学校の外国語科で提示された言語活動のうち、小学校で学習した内容の定着の状況などの生徒の実態を踏まえながら、中学校の初年次の導入段階から必要な言語活動を通して学習を繰り返し行い、小学校からの学びを中学校段階へ接続させる指導を行うことを求めている。

言語活動を通したロードマップ

ピラミッド型



これまでの高学年外国語活動のイメージ

第1時	第2時	第3時	第4時
・日本語と英語の音声の違いに気付く。 新しい語句や表現に出会う	・新しい表現を知る。 ・単語を聞いて新しい語句や表現に出会う	・単語や表現を聞いたままに言ったりして慣れ親しむ。 使ってみる 疑似コミュニケーション	・自分の考えや気持ちを伝える。 コミュニケーション
ゲーム チャンツ など	チャンツ インタビュー など	チャンツ インタビュー 発表 など	

音声や表現に慣れ親しむ
言語や文化への気付き
ゲーム
チャンツ
など

漆塗り型



「言語活動を通して」求められる資質・能力を育成する
外国語活動・外国語科のイメージ

第1-2時	第3-4時	第5-6時	第7-8時
Small Talk			
既習語句や表現を使って自分の考えや気持ちを伝え合ったり、新しい語句や表現に出会ったりする			
新しく出会った語句や表現、既習語句や表現を使って自分の考えや気持ちを伝え合う			
自分の考えや気持ちを伝えるために、新しい語句や表現に出会う			
コミュニケーションの楽しさ・言葉によるコミュニケーションの大切さを感じる			

単元目標を達成するための終末の言語活動に取り組む



単元終末
言語活動



言語活動

言語活動

言語活動

言語活動

言語活動

単元目標

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定

卒業時の目標



学年の目標



各単元の目標



毎時間の授業（言語活動）

指導と評価の一体化

目 標

- ・ 学習指導要領に示された目標
- ・ 児童生徒、地域の実態に応じた目標



指 導

- ・ 学習指導の工夫
- ・ できるようになるまで支援する



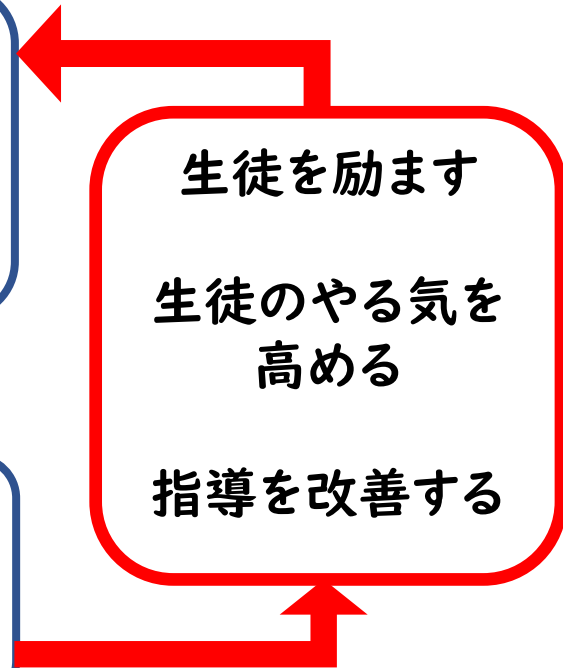
評 価

- ・ 目標が達成されたかどうかを見取る

生徒を励ます

生徒のやる気を
高める

指導を改善する



それぞれの活動を評価する

	単元名	題材	
1	We are friends.	簡単な自己紹介	評価
2	What time do you get up?	日課	評価
3	Where do you want to go?	おすすめの国	評価
4	Who is your favorite person?	日本の紹介	評価
5	I want to see the Milky Way.	夏休みにしたいこと	評価
6	My Summer Vacation	夏休みの思い出	評価
7	What are the customs of your country?	世界の国々の習慣	評価
8	What sports do you like?	してみたスポーツ	評価
9	What is your favorite memory?	小学校の思い出	評価
10	What are your dreams for the future?	将来の夢	評価
11	What is your favorite school life?	中学校生活でしたいこと	評価

評価
(P評価含む)

評価
(P評価含む)

評価
(P評価含む)

6年生領域別目標

E X T

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定

何ができるようになっていくのか？



卒業時の目標



単元のまとまりの中で評価



日々の授業

外国語活動・外国語科の目標達成に向けて

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

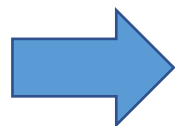
学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

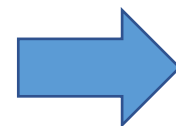
未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

小学校



中学校



高等学校

卒業時の学習到達目標の設定

生徒の学習の状況や地域の実態等を踏まえた上で、卒業時の学習到達目標を、言語を用いて「～することができる」という形で設定し、卒業までに生徒が身に付ける能力の全体像を描くことが重要である。

学年ごとの学習到達目標の設定

卒業時の学習到達目標を達成するため、各学年段階における指導や評価に資するよう、学習指導要領の外国語科及び外国語科の各科目の目標に基づく学年ごとの目標として、4技能を用いて「～することができるという形（「CAN-DOリスト」の形）で設定することが望ましい。

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定

卒業時の学習到達目標



学年ごとの学習到達目標



単元の指導計画へ反映



単元の指導及び評価計画へ反映

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定

CAN-DOリスト



卒業時・学年末の学習到達目標

評価規準



单元ごとの学習活動を踏まえた
具体的な目標

外国語活動・外国語科の目標達成に向けて

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

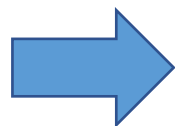
学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

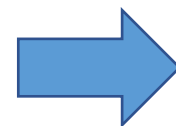
未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

小学校



中学校



高等学校

外国語活動・外国語科の目標達成に向けて

「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にする

各学校段階の学びを接続させる

外国語活動・外国語科の目標達成に向けて

CAN-DOリスト形式での学習到達目標を各学校が児童・生徒の実態、地域の実態に応じて設定し、その目標達成に向けて日々の授業に取り組み、小学校から中学校へ学びを接続させることが必要。

CAN-DOリスト形式の学習到達目標の活用について

今年度中の作成・公表・達成
状況の把握をお願いします。

学習到達目標の設定について

それぞれの学校におけるCAN-DOリスト形式による学習到達目標を見直し、小学校と中学校の先生方がより一層連携する契機としていただくことを願っています。

一人でも多くの子ども達が「できた！」という喜びを実感できる外国語の授業構築を目指して